ある町の天気相談所

Vol.48
2021.12. 3
令和３年１２月号

紅葉

写真は、11月21日に十王パノラマ公園で撮影しました。木の種類、同じ種類であっても環境により、紅葉の進みは違っていました。

11月中旬からは最低気温が10℃を下回る日が増え、市役所から見える山の木々も、様々な色があり、あたかもパッチワークのようでした。

11月の気候

11月は、下旬に平年より低い気温となった日があるほかは、平年より高い気温の日が多く、月平均気温は13・1℃と平年より高くなりました。天気は周期的に変わり、9日と22日にはまとまった雨も観測し、月合計降水量は76・0ミリと平年より多く、月合計の日照時間は215・2時間と、平年の135％と平年よりも多くなりました。

1カ月予報（気象庁発表）

12月は、平年と同様に晴れの日が多いですが、期間の前半を中心に、暖かい空気に覆われる時期があるため、気温は「平年より高い」、降水量及び日照時間は「ほぼ平年並み」の見込みです。

月食

11月19日、部分月食が観測されました。今回は、皆既月食に近い部分月食でした。月の出からすでに欠けており、18時頃にはもっとも欠けた月となりました。日立市には上層の薄い雲も所々にあったため、月を隠してしまう時もありましたが、欠けていく様子を市役所屋上から観測することができました。

17時前の様子

18時頃の様子

天気用語の基礎知識

大雨注意報３

大雨注意報（土砂災害）の発表には、「土壌雨量指数」が利用されている。雨水がどのくらい地中に貯まっているかを、３つのタンクを使って計算している。土壌雨量指数は１キロメートル四方のメッシュごとに計算され、それぞれに基準値があり、その基準を超えたメッシュは、気象庁ホームページの「大雨警報（土砂災害）の危険度分布」で確認できる。

……神峰の山から……

ケーブルテレビの行政放送番組「デイリーひたち」の中で、毎月第４週に、「お天気マメ知識」というコーナーがあります。天気相談所で原稿を作成、予報士が声の出演をしています。ここ１年ほどは、３択のクイズ形式なのですが、なかなか難しいものだと感じています。最近は答えがすぐにわかるような選択肢にしていますが、選択肢を少し変えただけで難問になってしまうことも。そのため、問題の最初の読者である、行政放送を担当する、市の広報戦略課の方が、理解でき、面白がってもらえるかを基準に作成しています。

そのため、今までには、候補にありながら、採用されなかった問題や選択肢も多数あります。